

緊急対談

総力特集 領土を守る闘い！

国家の成立要素は 領土、主権、国民です

上坂冬子

ジャーナリスト

田中 茂

日韓協力委員会理事

撮影・佐藤英明

上坂 竹島について学習指導要領の

解説書に「北方領土と同様に我国の領

土・領域について理解を深めさせる」

という表現が書かれたとあって、韓

国が火がついたように怒りました。

駐日大使を呼び戻すやら、首相を竹

島に上陸させるやら大騒ぎになっ

た。竹島に関しては両国間に密約が

あったそうで、密約についてあなた

詳しいんでしょう。ともかく密約は後

回しにして、本筋から話しましょう。

そもそも日韓間の領土の取り決め

の土台はサンフランシスコ講和条約

ですね。

田中 そうです。

上坂 講和条約には韓国側に属する

ものとして三つの島の名が出てく

る。すなわち「済州島、巨文島及び鬱

陵島」です。竹島の「た」の字もあり

ませんね。

田中 実際は、条約の草案内容を見

た韓国側はあの時、独島（竹島の韓

国名）も加えて欲しいとアメリカに

申し出ているのです。しかし「竹島が

朝鮮の一部として取り扱われたこと

は決してなく……」と一蹴されていま

す。

上坂 そこまではつきりしているの

なら問題はないはずなのに、そこに

臆面もなく出てきたのが李承晩ライ

ン。マツカーサーが漁業権のための

ラインを決めたのを、国境みたいに

仕立て上げちゃった。

田中 一九五一年に講和条約が締結

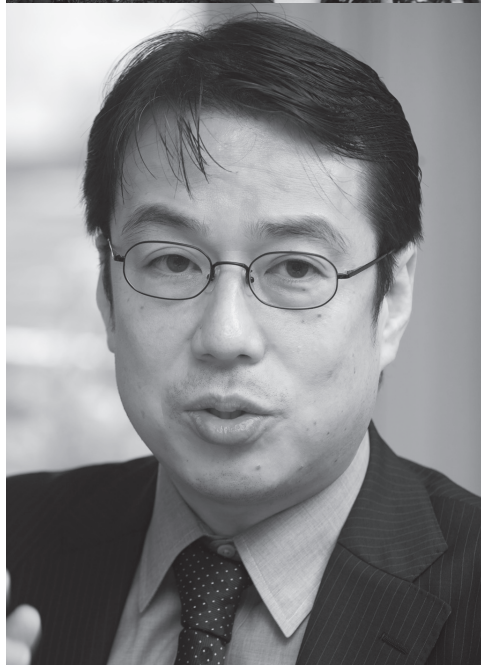
され、一九五二年四月二十八日から

実施されることになるのですが、李

承晩ラインが引かれたのは条約実施

の三カ月前にあたる一九五二年一月

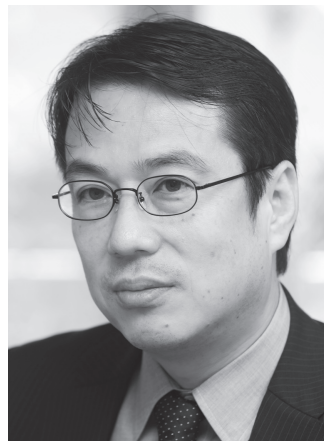
です。当時の李承晩大統領の「海洋主



権宣言」によって国際法に反して勝手に竹島を取り込んだ。マッカーサーラインは講和条約発効までの暫定的ラインにすぎず、竹島が日本領に属すという講和条約の草案を見て、その発効前に宣言しています。また、一九五〇年六月から朝鮮戦争（一九五三年七月）が勃発していますから、その影響もあったのでしょう。

上坂 勝手もいいところよ。そのあたりのやり方は北方領土問題のロシアとそっくり。ロシアもマッカーサーラインをそのまま使って今日まで国境線みたいにな主張してます。二年前にはそのラインを越えたといつて日本の漁師が撃ち殺されました。

田中 李承晩時代の韓国は日本漁船をどんどん拿捕していましたよね。田中 死者も五人でていますし、船も多数が未帰還です。しかし日本としては憲法第九条があるので、こちらからは実力行使ができない。上坂 九条を厳密に守るとこうなる、といういい例ですね。



たなか しげる

1957年生まれ。佐賀県武雄市出身。米国クレイトン大学 (Creighton University) 教養学部政治学科専攻、準専攻哲学。現在は、中曽根康弘秘書、学校法人創志学園愛媛女子短期大学客員教授、日韓協力委員会理事、(財) 勤労青少年協会理事。米国オマハ市名誉市民。

ではありますが、勝訴の要因は常に主権を主張し続けることであり、それが重要なのです。

古くはフランスとイギリスの間でもマンキエ・エクレオ諸

が応じなければ訴えられないなんて、国際司法裁判所って役に立たないわね。

田中 実は、全く役に立たないって事もないんです。例えば近い判例では、マレーシアとシンガポールの間でペドラ・ブランカという島の領有権が争われ、二〇〇三年に両国が国際司法裁判所に提訴しました。今年五月にはシンガポール勝訴の判決がでて、その結果をマレーシアも爾々と受け入れたのです。

この判決内容を見ると、確かに実効支配 (不法占拠ではない) が有利

島の領有権を争ったことがあります。フオー克蘭島紛争と異なり、こちらは戦争をしないでイギリスが勝訴して、フランスも納得し判決に従っています。

上坂 筋を通して話し合える国同士ならいいわねえ。

韓国は訴訟に応じるべき

田中 日韓だってお互い成熟した民主国家のはずですからね。国際的な判断を仰ぎ、従うことは国際的なアピールとしても極めていい。

上坂 韓国にも、無手勝流の李ライ

ンに対して後ろめたさを感じている人がいるんじゃないかしら。

田中 一九六二年の国交正常化の前に、日本は韓国へ二回目の口上書を提出しています。当時の小坂善太郎外相は二月二十日の衆院予算委員会で次のように述べています。

「国交が回復する瞬間には、これは当然先方は応訴すべきだ。また我方は先方が応訴して初めて国交の回復を考える」

上坂 筋が通ってるわね。

田中 さらに小坂氏は「もし国際司法裁判所で裁定がくだされば、爾々と従う」とも国会で答弁しています。「竹島は日本の領土である」という自信があったからでしょう。

上坂 そのあと日韓基本条約を結ぶことになるわけですが、その時、すでに李承晩は失脚していますね。

田中 李承晩大統領は一九六〇年三月に起こった四・一九革命で失脚し



かみさか ふゆこ

1930年東京生まれ。ノンフィクション作家。菊池寛賞、正論大賞受賞。著書は『戦争を知らない人のための靖国問題』（文春文庫）、『硫黄島いまだ玉砕せず』（ワック）、『人間のけじめ』（海電社）、『女の生活力』（PHP）など多数。

ています。彼はとにかく反日でしたから、李承晩政権時代には国交正常化は不可能だろうと言われていました。李ラインを持ち出したのも、反日思想と、内政の立ち遅れから目をそらすためだったと考えられますね。日韓基本条約の発効が一九六五年十二月十八日で、当時は朴正熙大統領でした。

私も田中さんも、日韓協力委員会で、中曽根康弘元総理のお供をして韓国と交流をしてきましたが、金鍾泌さんって、日本人と全く変わりない日本語を話す人ね。「ああ、それはかれこれ五年前のこと」とか「ホドのいいところで一献傾けますか」なんて。

上坂 朴さんは日本の士官学校を出ているから、李承晩とは打って変わって親日的でしたね。まず金鍾泌さんを初代中央情報部長に抜擢して、日韓交渉の中核メンバーに位置づけ

田中 初めは金鍾泌氏が、日韓基本条約締結に向けて戦後補償や経済協力、そして漁業権の問題など日韓関係の交渉を実質的に進めていました。

日韓交渉の中核メンバーに位置づけ

上坂 ところが金鍾泌さんは「李承晩

ラインにこだわるべきではない」として竹島の領有について譲歩しかけたのが、国民の猛反発を受けて、交渉の舞台から退くことになった。バランスの取れた金

鍾泌さんが、あるとき退いていなければ日韓の歴史は変わってたわね。

田中 その後、丁一権国務総理が引き継ぎ国交正常化を担当しました。

彼も日本の陸軍士官学校卒業ですが、金鍾泌氏の実兄であり、朴正熙大統領にとっても縁戚である金鍾珞氏を密使として登用しました。対する日本側は、表玄関は河野一郎氏で、裏口が宇野宗佑氏。そして、「竹島密約」が交わされるのです。

「竹島密約」の中味とは

上坂 一体どういう内容なんですか。

田中 その主文は「解決せざるをもつて解決と見なす」であり、内容は四項あります。

（一、竹島、独島は今後日韓両国ともに自国の領土と主張することを認める。お互い反論してもよい。

二、両国が主張しあう範囲のうち、重複する水域は共同水域にすること。

三、李承晩大統領が一九五四年に設置した灯台はそのまま現状維持でよいが、新施設の造営や警備増強はしない。

四、この約束は歴代政権で引き継いでいく。

と、こういう内容です。

上坂 田中さんはどうしてこの「竹島密約」をご存知だったの。

田中 私は、丁一権首相が日本側と交渉する際にアドバイスを求めた、読売新聞ソウル特派員だった嶋元謙郎氏からこの話を聞いていて、自分なりにフォローしていました。

確か二、三年前に来日した金鍾泌氏が講演会で「解決せざるをもって解決と見なす」という密約があったことに触れたのです。その時たまたま聞いていて、「密約は本当にあった」と改めて思いました。

密約を交わした当時の背景とし

て、日本側も韓国側も早期に国交正常化を望んでいたと思います。日本は、ソ連、中国、北朝鮮の共産主義勢力に囲まれ、韓国と共に西側諸国の一員としてそれらを抑止したいという意図もあったでしょう。実際、佐藤首相はその時アメリカのジョンソン大統領との会談を控え、日韓基本条約をお土産に持っていきたかったという思惑もあったようです。

上坂 「韓国とは万事うまく行きました」って一言がぎりぎりで間に合って、ジョンソンも喜んだって伝えられてますね。ジョンソンも日本を通じてアジアに影響力を及ぼしたいと思っていた矢先ですから。

「未解決の解決」の智恵

田中 共産主義勢力を抑えるために、軍事政権も民主化へと早く移行して欲しい。そのためには、韓国に経

済力をつけて自由主義陣営の枠組みに入りたいと考えたかもしれません。
編集部 しかし竹島から引き揚げさせた上で「お互い恨みつこなし」になるならまだしも、韓国は軍隊を駐屯させているわけで、それはそのままにしておいたのは日本側に不備があったように思います。

田中 密約ですから表には出ないということが前提ですが、不備という点では領有権を主張している両国共に問題になる内容だと思っています。この密約は、歴史的背景に加えて、両国とも拿捕した漁師を抱えていましたから、焦りがあったのでしょう。

上坂 それで河野一郎が一所懸命、話をまとめたんですね。このあたりの経緯も北方領土とよく似ているんですよ。初めて日ソ共同宣言をまとめた時に日本はまだシベリア抑留者千二百人を人質に取られていました



黙っている間に勝手に勝手に標石まで設置

(写真提供／共同通信社)

から、四島返還を望みながら、チラと二島の名を出したりして焦ってますね。

で、結果として日韓基本条約には領土問題は一切書かれていない。朴正熙は経済危機でとにかく資金が必

要だった。「漢江の奇跡」と言われる経済復興をやつてのけたのは、日韓条約締結による借款が役に立ったわけですよ。

田中 そうです。だから「未解決の解決」という、玉虫色の解決策それ自体は一つの智恵だったと思うし、当時の選択としてはおかしくはなかったと考えられます。

上坂 あなたも政治家ねえ。アレは智恵なもんですか。私はああいうアイマイさが許せない。

田中 しかし領土問題が行き着くところは戦争ですから。お互い触れずにそのまましておこうということに高度の政治判断ですね。

上坂 よく聞く言い回しだこと(笑)。

反日政権の台頭

田中 それからしばらく、この密約の内容は歴代政権で守られていた。

上坂 八〇年に大統領になった全斗

煥さんも親日でしたね。全斗煥大統領の頃日本は中曽根さんが総理で、この二人は大変仲がよかった。中曽根さんの米寿の誕生日に、全さんは来日されましたね。竹島問題はあの二人で解決できたでしょうに。

田中 当時日韓の間では領土問題は何も噴出していませんでした。世界情勢から見ても、冷戦の下、自由主義と共産主義の両陣営の対立が激化しており、西側としては敵陣営を崩壊させることが戦略の中心となっていました。そういうときに竹島を持ち出して、韓国と対立したくはなかったというのが実情でしょう。盧泰愚大統領の時代も竹島密約の精神は引き継がれています。全斗煥大統領も盧泰愚大統領も陸軍士官学校卒で、朴正熙大統領や金鍾泌氏と同じ価値観を持っていたのでしょう。

上坂 つまり当たらず触らずやってきたのが、金泳三政権で一変したん

です。

田中 軍人出身でない民間出身というところが皮肉ですが、金泳三大統領は反日をスローガンにして、支持率を上げていったんです、彼が政権を担ったのは一九九三年から一九九八年で、一九九七年にはアジア通貨危機があった。IMFの支援を受け、日本も百数十億ドル負担しています。それだけやっても、金泳三大統領は竹島に接岸工事を行なったり、軍事演習までしたのです。

編集部 金泳三大統領在任中の一九九五年から毎年、韓国軍は竹島周辺の軍事演習を実施しています。

上坂 黙ってた日本もワルイ！

田中 そのあとは金大中、盧武鉉兩大統領と反日政権が続いて、ようやく本格的な保守政治家の李明博大統領が就任し、これで日韓関係が前進すると期待していた。その矢先に、今回の騒動でまたしても竹島近辺で

「独島防衛」を冠して軍事演習を行ない、首相も自ら竹島に上陸してしまった。これは極めて残念な状況で、あなつてくると收拾がつかなくなつてしまします。

「韓国領」の根拠はない

編集部 そもそも密約を先に破つたのは韓国ですからね。

上坂 密約の文書を韓国側は焼き捨てたそうだし、日本の外務省もそんなものはないといっている以上、密約なんて無視するに限りますよ。

韓国は実効支配をして、既成事実を作ろうと躍起になって今日まで来てますが、そもそも「独島（竹島）」は韓国の領土」と主張できる根拠は全くなかった。だから必死になるのかもしれませんけれど。

田中 韓国は「実効支配しているから領土問題は存在しない」とまで言っています。しかし竹島については、韓

国がこれほど違法性の強いことを堂々とやっているのは珍しい。だから、話はむしろ分かりやすい。

日本としては自信があるからこそ、これまで敢えて必死にならなかつたのかもしれませんが。今年になつて外務省も竹島に関して「竹島問題を理解するための10のポイント」という冊子（日本語、韓国語、英語版）を作りました。これがかなりよく出来ているんです。

その内容は、外務省HPにもあり、最近、韓国語版へのアクセスは一万件に達しているとの事です。これは事実関係を知らない韓国の人たちに大変影響を与えるでしょう。

上坂 そこにも書いてありますが、日本は少なくとも江戸時代には竹島の領有権を確立していたのよね。

田中 鳥取藩伯耆国米子の町人が、現在の鬱陵島への渡航許可を徳川幕府に求め、幕府が承諾したという一

六一八年（一六二五年という説もある）の記録があります。当時あの辺はアワビがよく獲れましたから、漁のために鬱陵島へ行く途中に位置している竹島は、中継地点として役立っていたんですね。

当時は鎖国下で、鬱陵島への渡航許可を幕府が出したということは、当然、鬱陵島は国内だという認識だったことになり、鬱陵島より手前にある竹島も日本の領土だと認識していたわけです。

それから七十年近く、漁採は続きましたが、一六九二年、いつものように鬱陵島へ行ってみると、多数の韓国人がいて驚いたという記録がある。そこで幕府の命を受けた対馬藩が李王朝と交渉して、両国とも鬱陵島の領有権を主張したため、一旦は対立します。しかしその後、幕府は友好関係を尊重し、日本人の鬱陵島渡航を禁じるに至りました。これを「竹

島一件」と呼んでいます。当然、竹島については両国とも日本の領土だという認識だったことが分かります。

上坂 韓国側はどんな歴史をさかのぼって、「ウチの方がずっと昔から竹島を認識していた」と古い文献なんかを出してきますね。

田中 実は、日本の学者でも竹島は韓国領と言う人もいれば、韓国の学者にも日本領と言う人もおり、その領域の話になると、あとは歴史家の仕事の範疇に入ってしまう。「竹島一件」や、一九〇五年に島根県が竹島を編入し、その後サンフランシスコ講和条約で竹島が日本の管轄下にあることが明記されたことだけをもつてしても、「わが国固有の領土である」とは間違いありません。

無策の日本もワルイ！

上坂 それにしても、北方領土同様、他国にのっとられて手も足も出せず

にこのまま進むと、横取りされてしまふんじゃないでしょうか。これまで六十年近く手をこまねいていた日本もワルイ！

田中 いや、日本は事あることに「韓国による不法占拠は受け入れられない」ということを、韓国に対して文書で訴え続けてはいるのです。

上坂 でも相手が同じ土俵に上がろうとはしないのを承知で手続きだけやりましたっていうのは、何もしなかったに等しい。もう六十年近く実効支配を続けているという事実には重みがあるしねえ。

田中 実効支配というよりも不法占拠という言葉が相応しいと思います。が、我々はこの不法占拠に対抗する効果的な方法として、国際司法裁判所を通じて堂々と勝負をするしかない。「なぜ韓国は土俵に上がらないんだ。やましいことがあるからではないか」と国際社会や韓国の国民にアピ

ールし続けることが必要です。日本も、その時のために自国の領土であるという理論武装を十分に準備しておくべきでしょう。

上坂 「勝負から逃げることは恥ずかしいことである」というのが通じるのは日本人同士だけの論法のようにも思いますが。相手は何かと言うと日帝時代を持ち出しますね。

編集部 韓国側は一九〇五年の島根県への竹島編入も、日韓併合の端緒、象徴だと言ってます。

田中 内政の不備を誤魔化すために反日を利用することがあります。韓国も民主国家なのですから、その点はそろそろ考え直してそれなりの対応をしてもらいたいですね。中曽根元総理が「外交四原則」という基本原則を掲げており、その中で「内政と外交」について触れています。紹介すると以下の四項目。

一、自国の国力以上のことをするな

二、内政を外交と混同して利用するな

三、外交はギャンブルではない
四、世界の正統的潮流に乗れ

上坂 特に二番目はお隣の国に教えてやって欲しいわね。ギャンブルとまでは言いませんが、今回のことで韓国は駐日大使を召還するところまでやりました。異常反応ですね。

日本も外務大臣が抗議してもいいと思うんですが、中国の毒餃子の件をひた隠しにしていたくらいだから、出来ないでしょうね。

田中 アピール不足は否めません。

上坂 あなたやつぱり政治家ねえ。こんな話のときくらい、少しはカッコしなさい(笑)。

田中 外務大臣が小坂善太郎を見習って国際司法裁判所へ提訴し、韓国に応訴するよう求めるべきですよ。

上坂 それに今回驚いたのはアメリカ。国内機関である地名委員会が、

竹島の帰属先を一旦は「主権未確定」と言ったのに、韓国から抗議を受けてたちまち「韓国」領だと言い直しましたね。よその国の領有権に口出しするなんて、アメリカは何サマだと思ってるの。

田中 「騒いだから変えました」となってしまうと、テロと同じで騒いだ者勝ちになってしまいますよね。いずれアメリカはきちんと対応することを迫られると思います。

アメリカがらみで言うと、一九五二年に日本は竹島を在日米軍の爆撃訓練区域に指定しています。紛れもなく日本の領土として扱われていたことは明白です。

上坂 そりゃそうね。独立日本がアメリカに竹島を貸したんですから。

国家が踏みにじられている

編集部 日本が毎年、事あるごとに韓国に対して抗議し続けているとい

う事実がありながら、国民のほとんどは知りませんね。何が悪いって、日本の新聞がそういうことを一切書かないのがおかしい。

田中 新聞だけに限らず、日本人の国家認識、主権意識は非常に希薄だと思っています。主権国家であれば自国の領土を他国が不法占拠していたら、戦ってでも取り返すのが普通です。しかし日本には憲法九条があるから戦争は出来ない。完備していない憲法を忠実に守っているから今の事態になったともいえます。

しかしそれにしても、「なんとしてでも取り返そう」という気迫がない。むしろ「もういらんじゃないか」と言い出す向きまである。

編集部 まさに朝日新聞ですよ。若宮啓文論説主幹がこう書いています。「例えば竹島を日韓の共同管理にできればいいが、韓国が応じるとは思えない。ならば、いつそのこと島を

譲ってしまったら、と夢想する」(二〇〇五年三月二十七日)

今回の騒動でも社説でこのように言っています。

「韓国にとって竹島は単なる小さな島の問題ではない。日本が竹島を島根県に編入した一九〇五年は、日本が韓国から外交権を奪い、併合への道筋を開いた年だ。竹島は、日本による植民地支配の象徴とされている」(二〇〇八年七月十五日)

上坂 もう！ ヤダッ。

編集部 日本もイージス艦なんかを出して圧力をかけるとか、右翼の誰かが竹島に渡って撃たれでもすれば、国際的にも問題にせざるを得ないと思うんですけどね。

上坂 でも、殺されたって問題にならないのは、ロシアによる漁師射殺が物語っている通り。やっぱり世論が盛り上がって、政府をつつくまでになってこないと難しい。そういう

意味で拉致問題は被害者家族が事を動かして立派ですよ。

田中 国家の成立要素は、領土、主権、国民です。拉致問題で言えば、

不法に領土を侵犯され、主権を侵害され、国民が拉致、監禁されて、全て踏みじられていくわけです。拉致は単なる誘拐犯という個人ではなく、国家主導で連れ去っていた。小泉首相が訪朝した時、北朝鮮が拉致を認めたあの瞬間は、国家として日本が国民を守れなかったことを認めた瞬間でもあったのです。

当然、国家に対しては国家が対応する。米国ならば、外交努力で解決しなければ、実力行使で国民を取り返しに行く。これが主権国家です。戦後民主主義ではそういうことを言うтусぐに国粋主義者扱いをされましたが、そうではなく、国家とはなんなのか、どうやって領土、主権、国民を守るのかということは国民自

身も熟慮しなければなりません。外交上、その三つは譲れないはずで、譲ったら国家として成り立たないんですよ。

上坂 ロシアの漁師銃殺の時だって、日本は船長に何もしてませんでした。罰金は自腹で払われ、ロシアで裁判を受けている時に、国は通訳も弁護士も送り込んでいない。船長一人をみすみす他国の人々の間に放り込んだ国家って何ですか？

冷静な竹島教育を

編集部 日本のそういう態度が韓国を増長させているとも言えますよね。最近では対馬まで韓国領だと言いつつ、指をちぎって血判状を書き血をだらだら流しながら街中進行したり、土地を買いあさっている。

田中 さすがに対馬まで言い出すと、あまりにも荒唐無稽で、竹島問

題も暴論扱いされかねない心配する声が韓国内にもあるそうです。

上坂 対馬にも韓国から観光客が押し寄せていますからね。私のところに「竹島に本籍を移しませんか」と言ってくる人がいますが、私は北方領土の国後島に移しちゃいましたからね。それにどんなにたくさんの人が本籍を移したって紙の上の事ではねえ。実効支配には敵いません。

田中 私は今が状況の変わり目だと思っています。ここできちんとしておかないと、後に禍根を残すし、もう解決の道がなくなってしまうです。

冷戦も終わって、世界の国家はそれぞれ国家意識を持ち始めました。それは一步間違えると強烈なナショナリズムになってしましますが、そうならないよう、冷静に、竹島を巡る一連の経緯をきちんと国民に教育する必要があります。韓国は朴政権

時代から竹島を自国の領土と教科書に載せて教育をしています。

編集部 その時韓国がまいた種は、形はどうあれ確実に芽吹いているということですな。

田中 今年、日本は初めて学習指導要領の解説書に竹島問題を記載しました。指導要領と解説書はおおむね十年ごとに改訂されます。今回、指導要領に書き込むのは見送られましたが、実質的に教科書作成に影響を与えるのは解説書なので、十年間には子供たちに教えられるはずですよ。

上坂 ともかく要点は二つです。講和条約のときに竹島は韓国領から外されていること。日韓条約では両国ともへっぴり腰で領土問題を棚上げしたことです。日本が領有権を子供に教えると言って、韓国大使を呼び戻して大騒ぎするほどのことじゃありません。